



画：「野洲川 朝ぼらけ」曲面水彩画
ブライアン・ウィリアムズ

第71期 年次報告書

令和6年 7月1日 ▶ 令和7年 6月30日



代表取締役社長 杉本 修啓

株主の皆様には、平素より格別のご支援とご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度、令和7年7月1日付で代表取締役社長に就任させていただきました杉本でございます。まずは株主の皆様へ、当社第71期(令和6年7月1日から令和7年6月30日まで)の事業活動につきまして、概況および今後の見通しや取り組みについてご報告させていただきます。

建設業界におきましても、昨今の世界情勢の変化による資材価格の高騰、人材不足や高齢化など様々な問題が深刻化している中、当社グループでは現場力・営業力の強化やデジタル技術の積極的な活用による生産性の向上、外国人技術者の採用など、様々な課題やリスク管理の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当期におきましては、おかげさまで増収増益で終える結果となりました。これも、株主の皆様のご支援のおかげと大変感謝しております。今後も公共案件の継続受注を重視し、安定した経営を続けていく所存でございます。また、令和5年に前任の奥田が、新和産業株式会社と共同で設立いたしました株式会社アンビエントでの環境事業への取り組みにもますます注力し、近江商人の経営理念である「三方よし」(売り手よし 買い手よし 世間よし)に「環境よし」を取り入れた「四方よし」をモットーとし、どんなときも利益を追求するだけでなく、お客様や社会のためになってこそ商いであるということをお忘れずに、持続可能な社会の実現を目指す三東グループでありたいと思っております。

突然ですが、皆様『土木の日』はご存じでしょうか。11月18日は土木の日として公益社団法人土木学会が昭和62年に制定した記念日で、「土木」という字を分解すると「十一」と「十八」となることから土木の日と制定されました。私は、その11月18日が誕生日でございます。私自身、当社に入社してから土木の現場に長く従事しており、建設業界でモノづくりに携わることは宿命であると感じております。さらに、この度の大役を仰せつかり、誠に光栄に存じますとともに、全身全霊を傾けて取り組む所存でございます。これまで当社の多くの先人たちが築いてきた技術、伝統そして信頼を礎に、日々進化する時代に対応し、三東グループの更なる発展を目指して努力を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月

▶ 連結財務ハイライト



土木
部門

市道新町 貴生川幹線内貴橋道路整備その16工事

- 発注者：甲賀市
- 工期：令和6年5月23日～令和7年3月21日
- 場所：甲賀市水口町水口～北内貴地先
- 概要：道路土工/構造物撤去工/アスファルト舗装工/
区画線工/防護柵工/信号移設工



現場代理人
植田〈土木事業本部〉



工事担当
岡治〈土木事業本部〉



この工事は、甲賀市水口町を流れる野洲川に架かる老朽化した橋梁を、新しく完成した新橋梁へ切り替えするための道路舗装工事でした。

施工については、開通式まで新橋車道の供用開始ができないという制約がありました。そこで、制約を厳守しつつ一般車両の通行の安全を確保するために、道路規制区間の検討や規制切替順序を何度も検討しました。また、工事を安全かつ効率的に進めるために、設計図面の補足仮設計画図を作成して工事を進めることで、制約条件の期日を守り無事に新橋を開通することができました。しかし、他の付帯工事や協議事項に遅れが発生したことで、当初の計画である早期完工ができなかったことだけが悔やまれます。

今回の工事では、働き方改革の一環として現場管理の少人数化・省力化を目標としました。そのために、3次元設計データを活用することで現地との整合性の可視化が可能となり、効率的で正確な施工を行うことができました。

最後になりますが、関係者の皆様のご協力により、当工事を無事に竣工することができましたことを心より感謝申し上げます。

TOPICS

前田建設工業株式会社様より 社長賞をいただきました

前田建設工業株式会社様より、協力会社部門社長賞(土木)をいただきました。

『野洲栗東BP七間場作業所』における安全管理と工事の完成度が評価され、表彰の運びとなりました。



西日本旅客鉄道株式会社様より 感謝状をいただきました

西日本旅客鉄道株式会社様より、京阪神地区における2024年度の融雪器設置工事を無事故で完遂したことにより、感謝状をいただきました。当社の技術が、鉄道の安全な運行にも役立っていることをうれしく思います。



株式会社奥山ポンプ商会 栗東営業所新築工事

- 発注者：奥山防災株式会社
代表取締役社長 北村勲様
- 工期：令和7年1月6日～令和7年6月30日
- 概要：新事務所 鉄骨造2階建て



現場代理人
荒木〈建築事業本部〉



工事担当
近藤〈建築事業本部〉



工事担当
白濱〈建築事業本部〉



株式会社奥山ポンプ商会様の栗東営業所新築工事に携わらせていただきました。

この建物は、営業所と倉庫の機能を併せ持つ建物として計画されたため、従業員の皆様が日々の業務をスムーズに行えるように動線やレイアウトに工夫を凝らす一方、厳しい敷地条件の中でも、搬出入のしやすさや十分な駐車場スペースの確保など、実用性と利便性に配慮いたしました。

また、建物の構造が耐震性・耐久性に優れているのはもちろんのこと、外観は企業イメージに合わせたシンプルかつ機能性を重視したデザインを心がけました。内部空間は明るく清潔感があり、スタッフの皆様が快適に働ける環境を重視した仕上がりとなり、施主様からご好評をいただき大変うれしく思います。

工事期間中は施主様をはじめ、関係者の皆様の多大なご協力により、無事に工事を完了することができました。心より感謝申し上げます。

『大阪・関西万博』にCLTベンチを提供いたしました

令和7年4月13日から10月13日まで、大阪夢洲で開催されている『2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)』にCLT¹ベンチを提供いたしました。

会場内の関西パビリオンの中に設けられている滋賀県ブースには、県産品や県内企業による提供資材が展示されており、当社も提供パートナー企業として選出され、びわ湖材²によるCLTの端材で制作したCLTベンチを提供いたしました。多くの来場客が実際に腰を掛けて下さり、木のぬくもりにご好評をいただいております。

国内外の方々に、当社の取り組みと滋賀の魅力を発信する絶好の機会となりました。



¹ CLT：Cross Laminated Timberの略語で、ひき板の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着した木質大判パネルを示す用語

² びわ湖材：森林関係の法令に適合した伐採で、滋賀県内の森林から伐採された原木とその原木を滋賀県内や県内の認定加工事業体で加工した製材品等の木材のこと

当社のESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み状況

当社のESGへの取り組みの一部をご紹介します。持続可能な社会の実現に向け、積極的に取り組んでおります。

『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025』に協賛いたしました



『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025』の開催にあたり、CLTベンチ14台と吊り下げフラッグ11枚を協賛させていただきました。TOPICSでもご紹介しております、端材を活用して制作したCLTベンチは、国スポの高等学校野球・軟式野球の会場となる甲賀市民スタジアムの更衣室、レスリング会場休憩所等に設置され、吊り下げフラッグは琵琶湖カントリー倶楽部様の通路に設置されております。

開催地である滋賀県の地元企業として、大会を“支える”という立場に関わることができ、大変光栄に思っております。令和7年9月28日より開催される『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025』が盛り上がるよう、当社も様々な面から協力してまいります。

在大阪ベトナム総領事が来訪されました

令和7年2月、在大阪ベトナム社会主義共和国総領事のゴー・チン・ハー総領事が滋賀県職員の皆様とともに当社の現場にお越しになりました。

当社には、現在6名の外国人技術者が在籍しております。その中でも、ベトナム社会主義共和国出身の社員は土木部に4名所属しており、今回来訪いただきました現場は、ベトナム出身の社員が入社後初めて現場代理人を務めた広域河川改修工事の現場でした。当日はベトナム語で、工事の概要やICT施工の説明を行い、さらに施工現場を見学いただきました。

総領事は、「現在、ベトナムから海外への労働者人口の約半数が日本で就労しており、ベトナムと日本の絆は強い。ベトナムの建設産業はまだ発展途上にあるが、河川の改良も行っていく必要があり、ベトナム人技術者の皆さんに日本で学んだ技術を祖国の発展に役立てられるよう、これからも取り組んでいただけたらとてもうれしい」と話されました。総領事のお言葉を胸に、これからも外国人社員とともに歩んでまいりたいと思います。



総領事と領事館の方々
会長の奥田と当社ベトナム人社員

『野洲のおっさん びわ湖1周ごみ拾い行脚』のスタート式に参加いたしました



令和7年6月、『野洲のおっさん びわ湖1周ごみ拾い行脚』のスタート式に参加いたしました。平成23年に「びわ湖の日制定30周年」の節目にスタートしたびわ湖1周行脚は、今年で15周年を迎えられました。滋賀県を拠点とする当社も、このプロジェクトを応援するとともに、今後も清掃活動への参加など、琵琶湖の環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

株式の状況 (令和7年6月30日現在)

発行可能株式総数 2,200,000株
発行済株式の総数 686,000株
当期末株主数 1,022名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社東物産	88	14.2
三東工業社従業員持株会	36	5.8
中川徹	32	5.3
株式会社滋賀銀行	28	4.5
三東工業社三東会持株会	21	3.5
奥田克実	19	3.1
東一孝	18	2.9
中川千秋	17	2.8
大西藤司	16	2.7
太洋基礎工業株式会社	16	2.6

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 当社は令和7年6月30日現在、63,668株の自己株式を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (令和7年6月30日現在)

設立 昭和29年7月
資本金 8億4千9百50万円
従業員数 106名
主な事業内容 土木、建築、舗装、各工事の総合請負

取締役 (令和7年7月1日現在)

代表取締役会長 奥田 克 実
代表取締役社長 杉 本 修 啓
取締役執行役員 中 村 幸 治
取締役 古 澤 一 昭
取締役(常勤監査等委員) 細 川 礼 昭
取締役(監査等委員) 津 田 穂 積
取締役(監査等委員) 西 川 真 美 子

(注) 津田穂積氏と西川真美子氏は社外取締役であります。

主要な営業所

本社 滋賀県栗東市上鉤480番地
本店 滋賀県甲賀市信楽町江田610番地
大阪支店 大阪市天王寺区東高津町11番7号
大津営業所 滋賀県大津市大將軍一丁目2番1号

株式会社三東工業社ホームページ



URL <https://www.santo.co.jp>

表紙絵画に寄せて



「野洲川 朝ぼらけ」(曲面水彩画)

鈴鹿山系に源を発し湖東の平野を下る野洲川は、琵琶湖に注ぎ込む最も大きな河川である。早朝、東の空のまばゆい輝きが、ゆったりと蛇行する川に反射して、名一瞬になった。青鷺たちが生き生きしたアクセント！永遠に美しく流れることを祈りながら、筆を走らせた。

by Brian Williams

ブライアン・ウィリアムズ オフィシャルサイト
<https://www.brianwilliamsart.com>

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月
基準日 定時株主総会 毎年6月30日
期末配当 毎年6月30日
中間配当を行う場合 12月31日
その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
インターネット
ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ(<https://www.santo.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

